

課等独自の個別目標年間評価（平成28年度）

部門名	課等名	個別目標の内容	目標達成の判断基準 (何をもちて目標達成とするか)	年間評価	目標成否
秘書室	秘書室	市長車・副市長車のエコ運転に心がけ、ガソリン使用料を前年度比10%削減する。	ガソリンの使用料が10%削減されれば目標達成とする。	外回りの公務が増加し、公用車の走行距離が長くなったため、目標達成とならなかった。	×
危機管理室	危機管理室	可燃ごみの量を昨年比5%削減を目標とする。	可燃ごみの量を昨年比5%削減されれば目標達成とする。	下半期ではガソリンの消費は減っていたが、可燃ごみの量の削減が目標に達成していなかった。来年以降の検討課題として考えていきたい。	×
経営企画部	経営企画課	パソコン利用について、ディスプレイの明度を下げて使用する。また、あらかじめ1時間半(90分)以上、席を外すことが明らかな場合は、電源をシャットダウンする。	個人アンケートの独自の取り組みを活用してチェックを行い、所属の半期平均点が4点以上となれば目標達成とする。	個人アンケートチェックは概ね上半期の数値より向上した。可燃ごみについても大幅削減し目標達成できた。今後の取り組みにも発展できるよう意識を持ち続けていきたい。	○
	情報企画課	ペーパーレス化を推進し用紙類の年間使用量について、昨年度と比較し同等以下の数値とする。	主に使用している再生紙の購入量を判断基準とし、昨年度と比較する。	紙の使用量を減らすことに努力し、webシステムを有効に利用することで、実現することができた。	○
	ケーブルシステム経営係	編集用パソコンを2時間以上作業しない場合、電源を切る。	環境管理推進員が定期的に確認。実施できていれば、達成とする。	1年間を通じて、目標を達成することができた	○
	地域づくり応援室	住民協議会において、環境問題に取り組むきっかけづくり。	それぞれの住民協議会の活動の中で、環境についての視点を取り入れていただくために、平成27年度に引き続き、住民協議会事務局員を対象とした研修において、松阪市の環境への取り組みを知っていただく場を設ける。これにより環境意識の地域への波及および、住民協議会活動において環境への視点を取り入れていただくことを目指す。	平成28年11月8日に開催した「住民協議会事務局員研修」にて、浄化槽など水環境に関することを中心に、環境・エネルギー政策推進課職員の説明による、学習の場を設けた。 (27住民協議会より29名参加)	○
	公共施設マネジメント推進室	紙の使用量を節減するため、当室で作成した公共施設マネジメントに関する刊行物（公共施設白書、施設カルテ、公共施設等総合管理計画等）については、原則ホームページで公表するものとし、冊子として印刷するのは最小限に留める。	常時(月末)、冊子のストックが10部以下であれば目標達成とする。	公共施設等総合管理計画などの刊行物は、必要量をその都度印刷するようし、施設カルテは、会議等で必要とする箇所のみホームページからダウンロードして資料として活用するよう努めているもので目標は達成した。	○

部門名	課等名	個別目標の内容	目標達成の判断基準 (何を以て目標達成とするか)	年間評価	目標成否
総務部	総務課	可燃ごみと再生紙の分別を徹底する。(総務課は紙を取り扱う業務が多いため)	各職員が毎月行う「個人アンケートチェック表」の⑯廃棄物の削減(ゴミの分別、リサイクルを徹底する)において、4以上であれば目標達成とする。	年間評価においても、個人アンケートチェック表の「可燃ごみと再生紙の分別を徹底する。」の評価点は5であり課独自の取り組みは目標を達成している。	○
	財務課	階数に関わらず、可能な限りエレベータを使用しない。(荷物等がある場合は除く)	個人アンケートチェック表で課の平均点が4.5点以上で達成とする。	個人アンケートチェックの結果より、目標の内容を達成できている。	○
	職員課	庁舎における節電を図るため、時間外削減プロジェクトにおける毎週水曜日と金曜日のノー残業デーの実施を推奨し、職員に周知を行う。(当該日に昼休みと退庁時の放送の実施、職員ポータル掲示板での案内)	ノー残業デーの日に毎回、放送等の案内を実施できれば目標達成とする。	ノー残業デーの日の毎水・金曜日に、課職員により当番制で周知放送を行うとともに、職員ポータルの全体掲示板での周知案内を実施できた。	○
	契約監理課	契約監理課における入札公告や事業者との契約締結に必要となる大量の設計書、図面等の関係書類について、電子化・縮小化などにより用紙使用量の削減を図る。	①工事関連を対象に設計図書電子配信への完全移行 ②契約図書(大型図面等)の縮小化 上記2点について事業担当課と協同し実施する。	設計図書の電子配信により、用紙使用量の削減を図ることができた。平成29年度以降も継続して用紙使用量の削減を図る。	○
税務部	市民税課	可燃ごみ量を前年度比3%削減する。	可燃ごみの排出量が前年度より3%削減されれば目標達成とする。	年間のゴミの量が4課で240.7kgと大幅に削減することができた。今後についても、意識を高め、ゴミを出さないように努力していきたい。	○
	資産税課				
	収納課				
	債権回収対策課				

部門名	課等名	個別目標の内容	目標達成の判断基準 (何をもちて目標達成とするか)	年間評価	目標成否
環境生活部	戸籍住民課	再生可能な紙ごみを確実に再生可能紙として排出する。又、毎月の可燃ごみと再生可能紙の排出量を職員に周知し意識を高める。	①各職員によるアンケートチェックの結果 ②環境管理推進員が週一度、再生可能紙が混じっていないかチェックし、記録する。 ③昨年度の可燃ごみと再生可能紙の排出量との比較 以上の3点を目標達成の判断の基準とする。	アンケートチェックの結果は、年間の平均値4.1であり、また、可燃ごみの排出量も昨年度と比較して減少していることから、目標が達成されたと判断する。平成27年度からマイナンバー制度が始まり業務量が増えたことに伴い用紙類の使用量も増加しているが、できる限り再生可能紙として排出し、引き続き可燃ごみ量の削減に努めたい。	○
	地域安全対策課	エコドライブを徹底し、燃料使用量の削減に努める。	燃料使用量が前年度より10%削減されれば目標達成とする。	前年度比31.3%の減。 エコドライブの徹底でガソリン使用料が削減できた。	○
	人権・男女共同参画推進課	課で実施する催し案内ポスター、チラシ、当日プログラム等において、環境やゴミ分別に関する標語等を掲載し環境に対する呼びかけを市民に行う。	実施する催しのポスター1回、チラシ5回、当日プログラム1回のうち6回以上標語等を掲載すれば達成とする。	上半期では、ポスター1回、チラシ3回、当日プログラム1回実施しており、下半期では、チラシ2回実施し、市民に対し呼びかけることができた。	○
	環境・エネルギー政策推進課	①毎月11日に第一小学校の児童や地元商店街の店主等と合同で清掃美化活動（「まちなかピカピカ大作戦」）を実施する。 ②毎月17日の業務終了後に、「まちなか清掃活動」として市内中心部の清掃活動を環境・エネルギー政策推進課において行う。 ③毎月17日朝に、松阪駅西トイレと中町トイレの清掃活動を地元企業及び商店街店主と合同で行う。	①平成28年4月から毎月11日の交通安全の日（11日が土日祝の場合はその後の平日）の午前7時30分から午前8時頃まで実施。 ②平成28年4月から毎月17日の業務終了後17時15分から18時頃まで実施。 ③平成28年4月から毎月17日の午前7時45分から8時15分頃まで実施。 上記すべてにおいて平成29年3月まで年10回実施することで目標達成とする。（雨天による中止等があることを見込み年10回とする）	上半期（4月から9月）まで雨天を除き、清掃美化活動（「まちなかピカピカ大作戦」、「まちなか清掃活動」、トイレ清掃活動）を実施している。下半期（10月から3月）についても、目標通り清掃美化活動を実施することができた。	○
	清掃事業課	省エネ運転に心がけ燃料使用量（軽油）を削減する。	平成27年度は、一元化による収集内容の変更に伴い平成26年度に比べ軽油の使用料が+6.6%となった。本年度は省エネ運転、作業の効率化を心がけることにより、燃料使用量を昨年度より2%削減することを目標達成とし、ひいては安全運転、事故の削減につなげる。	軽油の使用量は前年度比5%の減となり目標値を大きく超える数値であった。 省エネ運転、作業効率の努力+ごみ量、資源量の減少による結果、減少したとみられる。	○
	清掃政策課	燃えるごみの約20%を占める生ごみの減量を目的として、ダンボールコンポストを使った堆肥化講座を開催し、生ごみの堆肥化を推進する。	受講生の合計が50人を超えれば、目標達成とする。	ダンボールコンポストを使った生ごみの堆肥化講座を8回開催し、130人が受講した。今年度の目標設定であった50人を大幅に上回る参加があった。ごみ減量をさらに進めていく必要があり、3Rの啓発の一環として今後も堆肥化講座を継続的に開催する。	○

部門名	課等名	個別目標の内容	目標達成の判断基準 (何をもちて目標達成とするか)	年間評価	目標成否
環境生活部	清掃施設課	コピー用紙使用量の削減。	松阪市クリーンセンターに移行してから削減の努力は続けているが、最終処分場共々、今一度使用状況を見直し、裏紙に使用するなど削減努力をする。	平成26年度上半期が【81.6kg】・平成27年度上半期が【71.1kg】・平成28年度上半期が【13.2kg】であり、直近2年間の平均を取っても【42.15kg】となり、減少はしている。平成26年度下半期が【123.1kg】・平成27年度下半期が【239.4kg】・平成28年度上半期が【52.5kg】であり、直近2年間の平均を取ると【145.95kg】となり増加。全体として目標設定に対して未達成となる。但し、前年度比10%減は達成。	×
	飯南・飯高環境事務所	環境美化運動・景観活動への参加を推進する。	環境美化運動・景観活動への参加を飯南・飯高環境事務所職員6名中5名以上の参加で目標達成とする。	6月3日に環境美化活動として、国道166号線沿い時計台周辺の除草、清掃活動を行い、5名が参加した。	○
健康ほけん部	保険年金課	職員ポータル用パソコンのスリープ機能を活用し、電気使用量の削減に努める。	個人アンケートチェック「独自の取組み」を活用してチェックを行い、課の半期平均が4.0以上となれば目標達成とする。	個人アンケートチェック「独自の取組み」の半期平均が4.0以上のため目標を達成している。	○
	介護保険課	紙使用量の削減。	コピー用紙購入量が、前年比2%削減できれば目標達成とする。	コピー用紙使用量は、前年比2%削減は出来なかったが、増加することもなかった。裏紙を使用したり、安易にプリントアウトを行わなかったことにより、コピー用紙購入量を抑えることができました。	×
	高齢者支援課	ゴミ分別を徹底すると共に、プリントアウトの前に内容をチェックをしてミスプリントを減らし、可燃ゴミ量を2%削減する。	前年の可燃ゴミ量と比較し、2%の廃棄量が削減できた時点。	職員が意識を持って取り組んだため目標を達成できた。引き続き意識を持って取り組んでいきたい。	○
福祉部 (福祉事務所)	福祉ささえあい課	海外保健医療協力を役立てるため、使用済み切手や使用済みハガキを収集し、松阪市ボランティアセンターに送付する。また、市民や福祉関係団体にも周知をしていく。	個人アンケートの独自の取組を活用してチェックを行い、所属の半期平均点が3.5点以上となれば目標達成とする。	年間を通して目標である平均点3.5を達成することができた。職員の目標に対する意識や呼びかけにより達成できたものと考えられる。	○
	障がいあゆみ課	ごみ分別やりサイクルの徹底に努め、職員一人ひとりが意識を持ってごみ減量の取り組む。	可燃ごみが前年より5%削減できたら目標達成。	判断基準5%削減を大幅に超えており、達成した。	○
	こども未来課	近距離の公用車使用を意識して抑制することにより、排気ガス等による環境負荷を抑制する。	エコフィス個人アンケートチェック「⑧片道2km内業務における自転車・単車の積極的活用」の平均値が4.8以上であれば目標達成とする。	意識向上により年間を通して4.9という好成績を納めることができた。	○
	保護課	帰宅時のOA機器等（パソコン、プリンター、シュレッダー、換気扇）の切り忘れを0%とする。	最後に退庁する職員が、切り忘れがないかをチェックして点検表に記録し、毎日実施できれば目標達成とする。	課の個人アンケートチェックにおける年間平均点は5.0であり、最後に退庁する職員が、切り忘れがないかチェックして点検表に記録し、年間を通して毎日実施する事ができた為、目標達成といたしたい。	○

部門名	課等名	個別目標の内容	目標達成の判断基準 (何を以て目標達成とするか)	年間評価	目標成否
産業経済部	農水振興課	可燃ごみを減らす。(リサイクルできるものを分別する)	昨年度より可燃ごみの量を削減する。	前年度と比較して係が増えたことに加え、文書廃棄や、松阪牛まつりをはじめとした、課で準備を行うイベント等の開催に伴う物品の整理、廃棄を行うことにより、可燃ごみが増えたものと思われるため、今後はリサイクルを周知していく。	×
	林業振興課	庁舎周辺(飯高駅、国道166号線を含む)での清掃活動を年4回実施する。	清掃活動を年4回以上実施すれば目標達成とする。	清掃活動を平成28年5月31日に一回目、平成28年12月22日に二回目、平成29年1月12日に三回目、平成29年3月25日に四回目を実施したことにより、目標達成。	○
	農村整備課	松阪管内39排水機場の内、本庁管内で管理している排水機場は18機場である。建屋の老朽化は著しく、重油を取り扱っている機場が多いため、近くの現場に出た際、機場や周辺の水域に異常がないかを確認する個別目標を設定する。	排水機場や周辺を水域を確認した際は、管理係に状況を報告するとともに、毎月の個人アンケートチェックにより、目標達成の判断基準とする。	アンケート結果の平均値が4以上であるため、概ね目標を達成することができた。	○
	商工政策課				
	観光交流課	業務内容として、市内・市外を問わず出張が多いため、出張時には公共交通機関および庁舎周辺への業務時には自転車を積極的に活用するとともに、公用車の運転時には「ふんわりアクセル」など経済運転の励行に努める。	個人アンケートチェックの平均評価点が4以上で目的達成とする。	業務で庁舎周辺(中心商店街等)に出かける際は、積極的に自転車の利用を進めることができた。また公用車を利用時には「ふんわりアクセル」に課員全員が意識していることがわかったため、今後も引き続き啓発はしていく。	○
	企業連携誘致推進室				
	交通政策室	職員の公共交通利用促進。	職員ポータルの情報交流掲示板を活用し、月1回、公共交通の利用に関する情報を発信し、職員に公共交通利用を促す。	室本来の業務が繁忙であった時期があり、情報提供まで手が回らない月があった。	×
	MADE IN まつさ課	特産品やブランドPRイベント等の物品発送時には、過度な包装を避け、梱包は可能な限り段ボール等を使用せず再利用可能なコンテナ等を使用する。	物品発送時に再利用可能なコンテナ等を使用したかチェック表に記録する。要冷蔵などの物品で専用容器が必要な場合もことからコンテナ等の使用回数が90%以上で目標達成とする。	極力再利用可能なコンテナを使用し発送を行ったが、クール便等を多く利用し発送したため目標達成に至らなかった。	×

部門名	課等名	個別目標の内容	目標達成の判断基準 (何を以て目標達成とするか)	年間評価	目標成否
都市整備部	土木課	環境美化活動への参加を推進する。	年2回以上の清掃活動を実施すれば目標達成とする。	上半期において、ポケモンGOに伴う、公園へのゴミポイ捨てにより、ゴミ拾いを実施。下半期において、10月の川と海のクリーン大作戦への参加も踏まえ目標を達成することができた。	○
	維持監理課	庁舎周辺での清掃活動の実施及び環境美化活動への積極的な参加。	清掃活動を年2回以上実施すれば目標達成とする。	10月23日五主海岸、高須海岸、松名瀬海岸、中村川、櫛田川の清掃活動を実施。1月20日市役所周辺の清掃活動を実施。	○
	住宅課	CO2削減による地球温暖化防止に貢献するため、市営住宅に設置している外灯を省電力のLED照明に交換する。	平成28年度末でLED照明への更新率を65%以上とする。 ※各年目標値：平成26年度…21%、平成27年度…44%、平成28年度…65%、平成29年度…81%、平成30年度…100%	LED照明の交換について、上半期については16基、下半期については36基交換を実施したことにより、平成28年度の目標値を上回る更新率66.9%となり、目標を達成できた。	○
	用地対策課	用紙使用料を前年度比2%削減する。	用紙使用料が前年度より2%削減されれば目標達成とする。	46.8%の削減をする事ができ、目標達成することができた。今後も用紙使用量の削減に努めていきたい。	○
	都市計画課	緑地を含めた景観計画区域内（松阪市全域）における良好な景観を保つため、景観に影響を与えることが予想される行為に対して、周囲の景観と調和したものになるよう働きかけを行う。	都市計画課へ来庁した人に、松阪市が景観行政団体であることを知らせる。また、必要な人には景観形成基準のわかる資料を配布することで、景観条例や規則の内容を知らせる。 ※来庁者数の予測ができないことから、数値目標は設定せず。	年間を通して適切な対応を行うことができた。	○
	建築開発課	業務等の移動において、自動車の代わりに積極的に自転車を利用することで、温室効果ガス排出量の削減する。	各職員が自転車を利用した際に走行距離を記録し、走行距離累計200kmを目標達成基準とする。	各職員の頑張りにより目標を達成することができた。自転車を活用することは環境面だけでなく、職員の健康面にもプラスに働き、非常に良い結果となった。 走行距離 計206.58km達成。	○
	営繕課	設計時に再生材や省エネの建材を積極的に採用する。また、工事請負業者に環境配慮要望書を渡し、環境に配慮した工事を行う。	個人アンケートチェックで課の平均点が毎月4.5点以上となること。	個人アンケートチェックの平均点が4.5点以上となっており、目標を達成している。	○

部門名	課等名	個別目標の内容	目標達成の判断基準 (何をもちて目標達成とするか)	年間評価	目標成否
会計管理室	会計管理室	昼休み・時間外等にできる限り消灯に努める。	個人アンケートチェック項目②(不要箇所消灯の徹底)を利用し、課の平均点が4点以上となれば目標達成とする。	昼休みや不要な箇所の消灯に努めた。 個人アンケートチェック②(不要箇所消灯の徹底)平均点 4.7	○
上下水道部	上下水道総務課	可燃ごみの排出量を、前年度排出量を上回らないようにする。	前年度排出量180.2kgを基準とする。	年間を通して、過去から残っていた書類を処分していくなかで、排出量が多くなった。最近は、データによる写真管理を行っています。	×
	上水道建設課	工事契約用図面において、A1・A2で作成していたものをA3で作成する。	年間工事のうち80%以上の契約用図面をA3にできれば目標達成とする。	目標達成。	○
	下水道建設課	工事契約用図面において、A1・A2で作成していたものをA3で作成する。	年間工事のうち、工事件数として8割以上の契約用図面をA3にできれば目標達成とする。	年度目標を達成しています。	○
	北部上下水道事務所	環境ボランティア活動への参加を推進する。	清掃ボランティア活動を年2回以上実施もしくは参加すれば目標達成とする。	5月と10月に開催された環境ボランティア活動に参加した。	○
	西部水道事務所	水使用量及び用紙使用量を削減する。	個人アンケートチェックのチェック項目⑩～⑮において、課の平均点が4.0以上になれば目標達成とする。	個人アンケートチェック項目⑩～⑮の平均点は4.0以上であり、目標は達成された。	○
教育委員会事務局	教育総務課	週2日(水金)とノー残業デーが実施され、省エネ対策とスマートワーク推進強化が図られています。職員1人1人が業務時間を有効利用し仕事の効率の向上を目指し、電力削減にも繋がる取り組みを実施していきたい。	昨年度比、電気使用量3%削減できれば目標達成とする。	1年間を通じて組織改革に伴う事務等で時間外業務が増え、電気代使用量が増加してしまった。更なる個人の残業等に対する意識改革と併せ、電力削減に向け電気使用量の抑制に取り組みたい。	×
	学校支援課	担当する研修会や会議等で配布する資料は、両面印刷を行う。	毎月の個人アンケートチェックで「4」以上で目標達成とする。	個人アンケートチェック平均値は「4.8」であり、目標を達成している。	○

部門名	課等名	個別目標の内容	目標達成の判断基準 (何を以て目標達成とするか)	年間評価	目標成否
教育委員会事務局	文化課	「歴史文化の薫る魅力ある景観の形成とやすらぎある空間づくり」に寄与することを目的に、適切な維持管理及び環境整備を進めている旧長谷川邸の入場者数増員を図る。	前年度の年間入場者数を上回れば目標達成とする。	年間入場者数は、フリー公開:12,818人(66日)、団体公開:1,664人(62団体)の計14,482人であり、昨年度比△1,161人となり目標達成できなかった。今後も引き続き、来場者が見学しやすい環境整備等を図っていく。	×
	人権まなび課	可燃ごみと再生紙の分別を徹底する。	各職員が毎月行う「個人アンケートチェック表」の⑩廃棄物の削減(ゴミの分別、リサイクルを徹底する)において、4以上であれば目標達成とする。	個人アンケートチェック結果も概ね4以上であり、目標達成した。引き続き、廃棄物の削減について取り組んでいきたい。	○
	いきがい学習課	公用車のガソリン使用量を3%削減する。	使用量が昨年度より3%削減できたら達成とする。	平成28年度は、平成27年度の18.9%減となり、大幅に減らすことができた。	○
	スポーツ振興課	各競技団体へ市内の清掃活動への参加を呼びかける。	競技団体別の総会やスポーツ大会等において、愛宕川・神道川一斉清掃デー等の住民参加型の清掃活動への参加を呼掛ける。 ※呼掛け率が100%となれば達成とする。	達成できた。 各種大会及び会議等で呼掛けを行えた。	○
	三雲教育事務所	マイカー使用時の経済運転。	急発進・急加速・急停止をしないことを目標にし、個人アンケートチェックの平均値を4.0以上とする。	個人アンケートチェックの平均値は5.0で、今年度の個別目標を達成した。	○
	飯高教育事務所	環境ボランティア活動へ積極的に参加をする。	清掃活動等に積極的に参加を行う。年間3回参加することにより、目標達成とする。	上半期において、B&Gプール営業終了後、施設周辺の清掃活動を行った。下半期において、いいたか文化祭終了後、飯高開発センター周辺の清掃活動を行った。その他、地域の清掃活動にも参加をした。	○

部門名	課等名	個別目標の内容	目標達成の判断基準 (何を以て目標達成とするか)	年間評価	目標成否
議会事務局	議会事務局	議員も職員同様に、議会報告会などの諸会議において、用紙の使用量を最小限にとどめ、また、ごみの分別・リサイクルを徹底することにより、議員と職員が一丸となって環境負荷の低減に努める。	コピー用紙購入量及び可燃ごみの排出量について、それぞれ前年度比4%以上の削減をもって目標達成とする。	上半期において、可燃ごみの排出量は、前年同期比大幅に減少しているが、コピー用紙購入量は、今年度から設置された松阪市議会議員定数のあり方調査会の定期的な開催等により大幅に増加した。 また、下半期以降も議員、職員とも環境問題に対する意識は高く、年間を通じてそれぞれ前年度比目標数値の4%以上の削減を大幅にクリアすることができた。また、職員の個人アンケートチェック該当項目でも平均4.5以上と高く、今後も引き続き、議員と職員が一丸となって、環境負荷の低減に努めていきたい。	○
監査委員事務局	監査委員事務局	退庁時のOA機器等の切り忘れを0%とする。	最後に退庁する職員が、切り忘れがないかチェックし、点検表に記録する。毎日実施出来れば目標達成とする。	目標どおり、毎日のチェックと点検表への記録が実施できている。	○
農業委員会事務局	農業委員会事務局	農業委員会会長室の蛍光灯4本を1年間取り外し節電に努める。(冬場の夕刻時など暗くなる時間帯の会議や使用を極力明るい昼間に行うようにする。)	昼夜を問わず蛍光灯4本を完全に取り外しておく。	会議等の支障がない期間実施できた。	○
嬉野地域振興局	地域振興課	公用車の燃料使用量を前年比5%削減する。	公用車の燃料使用量を前年度より5%削減されれば目標達成とする。	今年度の課独自の個別目標として、「公用車の燃料使用量を前年比5%削減」とし、今年度の下半期においては、前年同期比に対して2.3%の減でしたが、年間目標では7.7%の減となり目標達成となりました。	○
	地域住民課				
	地域整備課	ごみの排出量を前年比5%削減する。	ごみの排出量を前年度より5%削減されれば目標達成とする。	中間では目標を上回っていたが、機構改革に伴う引越し作業により前年度より減少はしたものの、2.2%減に留まり目標には至らなかった。	×

部門名	課等名	個別目標の内容	目標達成の判断基準 (何を以て目標達成とするか)	年間評価	目標成否
三雲地域振興局	地域振興課	コピー用紙購入量の削減実施。	コピー用紙購入量の削減「前年度の3%減」。	前年度対比5.8%減となり目標達成	○
	地域住民課				
	地域整備課				
飯南地域振興局	地域振興課	月1回発行する「飯南かわら版」（振興局だより）に環境保全活動を呼び掛ける標語や記事を掲載し、市民の環境に対する意識の高揚を図る。（職員1人一回掲載内容を考える）	6月から毎月掲載することができれば目標達成とする。（計10回）	6月…『環境月間』 7月…『省エネ・節電対策』 8月…『夏の省エネ・節電にご協力ください』9月…『環境美化に取り組みましょう』 10月…『3R推進月間です』 11月…『エコドライブ推進月間です』 12月…『地球温暖化防止月間です。』 1月…『ウォームビズで冬の節電』 2月…『省エネルギー月間です』 3月…『エコな暮らし、できましたか？』	○
	地域住民課	次の節電に関する取組みを実施する。 ①蛍光灯の一斉消灯 事前に蛍光灯の不利用エリアを設定し、昼休み・就業時間終了後、直ちに一斉消灯を行う。 ②OA機器（パソコン・プリンタ）の電源OFFの徹底 地域住民課では、業務系のOA機器が数多く設置されているので、就業時間終了後直ぐに使用していない機器の電源をOFFにする。	個人アンケートチェック表により毎月の平均値が4以上であれば目標達成とする。	個人アンケートチェックの平均値が5.0であり目標を達成することができた。	○
	地域整備課	飯南管内で行われる環境活動への参加。（年1回以上）	地域整備課職員（5人）の内、4人以上の参加で目標達成とする。	8月4日に行われた清掃作業に地域整備課職員（5人 内1人病休）4名の参加で達成。	○
飯高地域振興局	地域振興課	離席する時は、パソコンのスリープ機能を活用し、電気使用量の削減に努める。	個人アンケートチェック表の独自の取組みとしてチェックを行い、課の半期平均が4点以上となれば目標達成とする。	達成できた。平均値4.9点。	○
	地域住民課	OA機器の節電対策として、離席する際はパソコンのディスプレイを閉じる、またはディスプレイOFFの設定を行う。	個人アンケートチェック独自の取組みを活用してチェックを行い、所属の半期平均点が4点以上となれば目標達成とする。	達成できた。	○
	地域整備課	地域整備課管理施設の敷地及び周辺の清掃。 ・対象施設（飯高駅、和紙和牛センター、飯高産業振興センター） ・飯高駅については、クリーン作戦166清掃活動と併せて実施。	清掃活動を各1回ずつ実施すれば、達成とする。	他課共同取組については、日程調整ができず個別での実施となった。 飯高駅のいたかの湯改修後のオープン前日の2/22に駐車場一体を清掃。 和紙和牛センターは、施設点検時の12/15に施設周辺を清掃。 産業振興センターは、2/28に清掃実施。	○